

# 市報 おぢや

2010  
1.10

平成22年1月10日発行  
第871号



## 小千谷を描くNo.383 時水城山雪景色 (若葉より)

新年明けましておめでとうございます。  
晴れた雪の城山が白く光っていました。最近、この山に登る愛好者が増えていて、城山詣でともいえる程に毎日必ず登る人や、中には日に7回も登ったという猛者(もさ)もいるそうです。普段の日でも早朝登山者が十数人は集まるとか。まさに大ブーム。常連の顔見知りです。忘年会をしたとかどうか、良いこったのし。オラチも頑張っ、いい年にしようでね。

### ●今月の主な内容

市長・議長年頭のごあいさつ	2~3
「どぶろく」でまちの活性化を	4~7
長岡市と定住自立圏形成協定を結びました	8
「小千谷市シルバーワークプラザ」完成	9
小千谷縮見本帳が新たに市指定文化財に追加	15
戸籍電算化に伴う文字の変更通知	17



## 年頭のごあいさつ

小千谷市長 谷井 靖夫

## 魅力あふれる「おぢや」の実現を進めます

新年明けましておめでとうござい  
ます。市民の皆様には、日頃より市政全  
般にわたり温かいご支援とご協力を賜  
り、心から御礼申し上げます。

昨年は、世界同時不況による景気低  
迷からなかなか抜け出せず、市民の皆  
様におかれましては、厳しい一年であっ  
たかと拝察いたします。市では追加の  
融資制度にかかる予算措置を講じるな  
ど、中小企業支援の対応を行ってきた  
ところですが、また中越地震から5年  
の節目の年として、昨年10月23日に  
は「追悼の集い」を行い、震災で亡く  
なられた方々への追悼の意を表すると  
ともに、これまで全国からいただいた  
温かいご支援に対し感謝を申し上げ、  
復興への気持ちを更新にいたしました。  
トキめき新潟国体では、市内外の

大勢の皆様にご観戦いただき、大会を盛  
り上げていただくとともに、元気な小  
千谷市を見ていただくことができました。  
さらに市民団体や個人による全国  
規模の大会への参加、表彰も多くあり、  
それぞれの立場で小千谷市の復興をア  
ピールいただいた年でもありました。

今年はいよいよ市の大プロジェクト  
トであります小千谷小学校改築事業の  
うち、校舎と屋内運動場が完成いたし  
ます。次代を担う子どもたちが、この  
新校舎で4月から元気に学ぶ様子を今  
から楽しみにしております。また医療  
のまち「おぢや」にとりまして大きな  
課題であります財団法人小千谷総合病  
院と厚生連魚沼病院の統合問題が、早  
期統合に向け大きく前進する年となる  
よう努めてまいります。

現在、平成22年度の予算編成作業を  
行っておりますが、政府の行政刷新会  
議の事業仕分け等、政権交代による  
様々な事業・制度が見直され補助金等  
の財源確保も不透明ななかでの編成作  
業となっております。地方自治体をと  
りまく社会情勢は大変厳しいものがあ  
りますが、行政サービスの停滞は許さ  
れず、限られた財源を効率的、かつ有  
効に配分すべく努めているところで  
す。今後とも、市民と行政が協働しなが  
ら、活力にあふれ魅力あるまちづくり  
を推進してまいりたいと存じますので、  
変わらぬご支援とご協力を賜りますよ  
うお願い申し上げます。年頭のごあ  
いさつといたします。



## 年頭のごあいさつ

小千谷市議会議長 風間 順一

## 皆様の「ご家庭の明るい話題はなんですか

新年あけましておめでとうございませす。市民の皆様におかれましては、健やかにお正月を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、中越地震災から5年の節目となる「追悼の集い」が総合体育館で催され、新たな復興へのスタートと、気持ちを引き締め出席いたしました。議会といたしましても、更なる住みよいまちづくりへと、思いを強くしております。

さて、アメリカ発のサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融不況は2回目の正月を迎え、その大きな影響は未だ日本全土を厚く覆っています。加えて新型インフルエンザの猛

威はなかなか衰えず、世情には、明るい話がしばらく聞こえてまいりません。どうぞご慈愛いただきたいと思っております。しかし、うれしいこともありました。

「追悼の集い」が開催された総合体育館においては、本県で45年振りの開催となった第64回トキメキ新潟国体が、6人制男女バレーボール競技の活力に満ちた花を咲かせてくれました。全国各地から小千谷市へ大勢の方にお出でをいただき、大きな声援をいただくとともに、復旧した小千谷市を見ていただけたいと思っております。ただ、前回の新潟国体の翌年3月に建てられ、数々のイベントの会場ともなった市民体育館が取り壊されたことは、少々寂しさ

もありませんが、新たに、本年小千谷小学校の校舎の敷地として生まれ変わることは、大変喜ばしいことと思っております。また、小千谷縮のユネスコの無形文化遺産への登録は、伝統産業に携わる方のみならず、小千谷市民にとっても大変な朗報でありました。

私たち議会は、市民の声を代弁する最も身近なものです。どうか皆様の1層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

最後に、本年が皆様にとって希望に満ちた年になりますよう、ご多幸とご健勝をご祈念申し上げます、年頭のごあいさつといたします。



「どぶろく」でまちの活性化を、特区を活用し、どぶろくを造るひとたち

地域の資源・環境の総合的な整備や、「食と人と農」を活用した活気のある地域づくりを目指し、小千谷市は、平成16年3月に「おぢや農都共生特区」として国から認定を受けました。いわゆる「構造改革特区」といわれるもので、今まで、法規制などの関係で行うことができなかった事業を、特別に行うことができる地域をいいます。

「おぢや農都共生特区」は、グリーンツーリズム（農村などでゆとりある休暇を楽しむような考え方）に対応した取り組みや農業体験などを充実させることで、交流人口を増やし、不耕作地や遊休土地の活用を進めます。また、この取り組みにより地域で新たな人材を育て、地域コミュニティリーダーの育成を目指しています。

特区の認定を契機に、農業者がこの地域の持っている地域素材を活用し、農業者主体の起業を促進して雇用に結びつけることが期待されます。



そこできしか味わえない  
懐かしい「どぶろく」がある

平成17年11月には「おぢや農都共生特区」の変更が認定され、どぶろくを市内で製造する免許の取得要件が緩和されました。

これにより自分で作った米を使い、自分の経営する民宿や食堂などで飲食の提供をできる方がどぶろくを製造し、販売することができるようになりました。

この規制の緩和により、市内では昨年12月末現在、4本のどぶろくが誕生しています。「自分が生産した米を使い、自分の酒類製造所で造り、自分の店で提供する」というこの「どぶろく」は「そこできしか造れない、飲めない」まさに究極の特産品と言えるのではないのでしょうか。

今回、市内でこの4本のどぶろくを製造するみなさんに「どぶろく」を通じた地域づくりにかける思いを伺いました。



篠田徳五郎さん

農家民宿 弥ぜん

(平成18年12月26日認定)

自分で造って、うちがやる農家民宿で飲ませてみたかったんです

どぶろく「徳五郎」(東山)

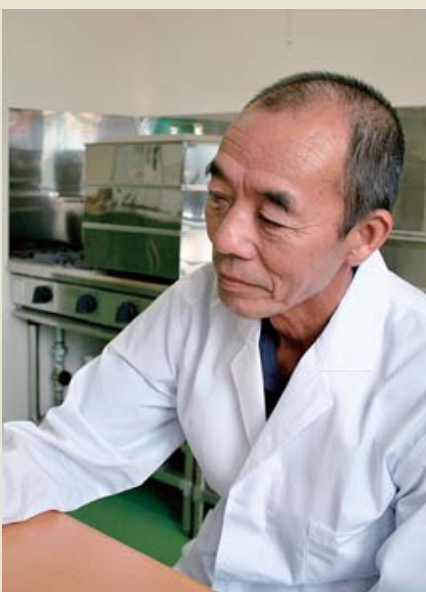
池田勝(徳右工門)さん

製造責任者

提供施設：お料理 小春

(平成20年2月8日認定)

どぶろくを通じて、お世話になった地域に恩返しをしたい



どぶろく「毘沙門天」(時水)



どぶろく「徳五郎」  
4合瓶 (720ml) 1500円

市内認定第1号のどぶろくは、「キリッと辛口、真っ向勝負の正統派」を自負する。昔ながらの素朴な味を追求したと篠田さん。特産「金倉そば」にもよく合います。  
■問い合わせ/農家民宿弥ぜん  
☎59-3391  
☎59-3391



「当時、市から特区を活用してどぶろくを造っている先進地の視察があるが行ってみませんか、という話があり、上越の農家民宿『どぶろく荘』への視察に同行しました。そこで飲んだどぶろくがたいへんおいしかった。特区を活用して、自分の農家民宿でどぶろくを造って出せるのなら、造ってみようと思いました。製造などの許可申請は東山の当時の地域振興支援職員や農林課の応援で行いました。自分だけでやれと言われればたいへんだったと思います。杜氏は私の同級生で酒屋の杜氏をしていた友人に頼みましたが、酒とどぶろくは醸造期間が違います。温度管理が難しくたいへんでした」と、農家民宿『弥ぜん』を経営し、市内で第1号となった、どぶろく『徳五郎』の製造者、篠田徳五郎さんから当時を振り返ってお話いただきました。



どぶろくの仕込みをする篠田さん

を見ながら温度を設定するんだよ」と言われ、最初はとまどったそうです。新潟県醸造試験場にも指導いただきながら、さまざまな試行錯誤を繰り返し、何度も失敗しながら『徳五郎』は完成したそうです。  
「正直、このどぶろくで地域の活性化ができるのか、あまり考えてはいませんでした。ところが、さまざまな地域からいろいろな方がうちのどぶろくを飲みにきてくれました。結果としてたくさんの方が東山地域に来て交流し、この地域のことを知っていただけたと思います。どぶろく一つでも、こういうことができると実感しました」と篠田さん。『徳五郎』を求めて、昨年までに、北は北海道、南は熊本からたくさんの方がこの東山へ足を運んでくれたそうです。

「小千谷の東、東山に市内で第1号のどぶろく『徳五郎』が生まれたので、西には自分たちのどぶろくを誕生させたいと思いました。そして地元でどぶろくを造り、そのどぶろくを利用して、地域を盛り上げることでお世話になった地域に恩返しをしたい、という思いがありました。また、小千谷の名物『へぎそば』には、どぶろくが合うと思っています。それから、時水の名水『ばば清水』の水と地元産コシヒカリ、そして地元杜氏で本場の地場産どぶろくを造りたかったのです」と、どぶろく『毘沙門天』の製造責任者を努める池田勝（屋号・徳右エ門）さんからお話いただきました。  
有限会社小春として製造許可を受けたどぶろく『毘沙門天』。どぶろくの名前の由来は時水地区内にある多聞神社に奉つてある「毘沙門天」に由来するそうです。法人格で始めたどぶろく造りは今後の流通や製品拡大も視野に入れているからとのこと。難しいと言われる温度管理も、充実した設備により現在は容易にできるそうですが、味の決定は、関係者で何度も試飲し、県内外の先進地の視察に何度も出かけ、研究を重ねたそうです。製造当初、「淡麗辛口」を売りにしていましたが、女性のニーズも視野に入れ、配合を変えた「甘口」も製造、現在2種類のどぶろくを造っています。  
「製造所が充実しているので、今後も味の違うどぶろくに挑戦したい

越後のどぶ「毘沙門天」  
4合瓶 (720ml) 1600円

米、水、杜氏すべてを地元時水で調達。水はご存知、名水「ばば清水」。お客様の提案を真摯に受け止め、現在、辛口、甘口の2種類を販売中。  
■問い合わせ/お料理「小春」  
☎82-8830



の展望もお話いただきました。  
有限会社小春のスタッフで、どぶろくの製造申請事務を一手に引き受けた和田秀行さんは「もう2〜3本、市内に新しいどぶろくが出てくれば、『小千谷どぶろく研究会』のような団体を立ち上げて盛り上げたい。理想は、年中、市内のどの地区に行ってもその地区のどぶろくが飲めることです。その地域にしかない味を求めて外の人が小千谷を訪れる、それが地域活性化に繋がるのではないかと思っています。どぶろくの飲み比べ大会ではないですが、『小千谷どぶろくサミット』などが行えるようになるといいですね」と、どぶろくを通じてまちおこしの夢を語ってくださいました。



和田さん（写真左側）と池田さん（写真右側）





## どぶろく「まるいち」(真人)

### 羽鳥清さん

真人そば・民宿 まるいち

(平成21年7月8日認定)

先人たちによる食の知恵に磨きをかけ、魅力的な地域の食文化を表現する

「そば・米・どぶろく。この地に生きた先人たちによる食の知恵に磨きをかけて、魅力的な地域の食文化を表現したい。どぶろくはその重要な要素です」と語る、どぶろく『まるいち』を製造する羽鳥清さん。

羽鳥さんが農業に取り組みはじめたのは5年前のこと。震災後の農地を復興させながら、安心安全な有機米コシヒカリ(循環自然米)の生産に取り組み、どぶろくの原材料にもこのお米を使用しています。

「どぶろく造りは発酵の過程で温度管理が本当に重要なんです。また、舌でこの味だ、というところを見つけて、それを覚えることもたいへんです。なにしろ放っておくとすぐ味が変わってしまいます」と、どぶろく造りの難しさも話していただきました。

「どぶろくの話になると近所のお年寄りたちも、昔、移動中の電車の中で、どぶろくの栓が飛んでしまったことなど、それぞれの思い出話を

目を輝かせて話してくれるんです。昔から生活に密着した食文化があったんだと思いました。でも正直、自分が昔近所で飲んだどぶろくはすっぱいと感じました」と、初めて飲む方や女性にも飲みやすい優しい味が心がけたそうです。

「自分がこれだと思う地域の素材を使ってその良さを引き出し、その地域にしかないどぶろくを造る。そして、地域のみなさんが『自分たちの地域にはこんないいものがあるんだ』と喜んでくれるのが一番うれいんです」と話してくれました。



「(あ)で「まるいち」を製造する羽鳥清さん。そばの良さを引き出し、その地域にしかないどぶろくを造る。そして、地域のみなさんが『自分たちの地域にはこんないいものがあるんだ』と喜んでくれるのが一番うれいんです」と話してくれました。

### 佐藤一雄さん

農家民宿 峠の茶屋

(平成21年7月8日認定)

ここでしか飲めないから人が集まる、それが地域が活性化するんだ

「山谷には昔、造り酒屋がありました。その酒造りの文化をみなさんに伝えたい。そんな思いでどぶろく造りを始めました」とお話しいただいたのは、どぶろく『とえん』製造者の佐藤一雄さん。

製造の過程では、温度管理が難しいと言われていますが、冷蔵庫など技術も進歩し、それほど面倒はなかったそうです。このどぶろくの特徴は、佐藤さんが作り続けている『千秋楽』という米を使っていること、この米に特にこだわりがあるということです。

「ここでしか飲めない、だからここに人々が訪れることに意義があり、それで地域も活性化すると思っています。これからは、地域に根ざした文化を語り継ぎながら、どこにでもあるものでなく、特徴ある地域づくりが必要だと思います。どぶろく造りはその地域の魅力を引き出すひとつの手段なんです」と、佐藤さんの地域活性化へかける思いは強い。

## どぶろく「とえん」(山谷)



「農業も昔と比べて変わってきています。地域づくりも変わらなければならぬ。地元だけで何とかしようとしてもだめなんです。都会の間をここへ呼び込む努力をしないといけないと思います。待っていても人は来ないから、こだわりの食材や地域の持つ雰囲気、そういった『人を呼び込む力』をつけないといけない。そのためには、どぶろくもそうですが、若い人にこういった地域づくりに参加してもらって、それが商売になるようなシステムづくりが必要だと感じています。自分は儲からないことばかりやってきましたが、それでも得るものはあり、自分なりに成果はあったと感じています。そういう経験もこれからの地域づくりに活かしたいし、伝えていきたいです」と、どぶろく『とえん』の瓶を握り締め、佐藤さんは山谷の未来を熱く語ってくれました。





## どぶろく豆知識

### ●どぶろくとは…

米、米こうじ、水のみを原料に酵母を加え8日～15日間ほど発酵させた濁酒です。

製造方法は基本的に清酒と同じですが、どぶろくは濾していないことが特徴で、アルコール度数も12度～17度くらいと発酵の度合いによりさまざまです。

米本来の甘さや少し酸味のあるさわやかさ、香り高くみずみずしいなど、素朴な味わいを十分楽しんでいただけるお酒です。



発酵中のどぶろく

### ●新潟県はどぶろく王国

特区の制度を利用した全国第1号のどぶろくが上越市で誕生し、現在までに県内では17本のどぶろくが生産されています。これは全国的に見ても本数が多く、製造者のみなさんは、「新潟どぶろく研究会」を立ち上げ、日夜、品質向上やもてなしなど、研究を重ねています。



### ●循環自然米とは

その地域から出た野菜くずや魚などの食品を堆肥にした地域循環堆肥や、もみ殻、刈り取り後の稲わら・稲の切り株を田んぼの中で堆肥化したものを使い育てたお米です。農薬はもとより有機肥料も入れず、土本来の力のみで育てた有機米です。

### どぶろく「まるいち」 4合瓶 (720ml) 1800円

「口当たりがいい」とお披露目会では大評判。店の看板メニュー「真人そば」との相性も抜群と多くの出席者が口にした。小瓶(330ml瓶)も販売。

■問い合わせ/  
真人そば・民宿  
まるいち  
☎86-3037  
FAX86-2062



多量に雪が降り、酒造りが盛んで、酒造家も慶応3年(1867年)には16軒を数え、越後の酒の一大産地を形成していました。その技術を継いだ「酒男」は全国各地に冬期間出稼ぎに出かけ生活を支えましました。

その後時代とともに第1次産業から第2・第3次産業へと主要な産業は形を変え、出稼ぎの必要も減少しましたが、今日においても酒造りの技術を守り続け、小千谷地域(魚沼も含む)の

当市は国内でも有数の豪雪地帯で、多いときには3mを越す積雪があります。この雪が資源となり、日本有数の米作地帯として発展してきました。しかし、その反面冬期間は仕事が無く、多くの農業者が出稼ぎにより生計を立てていました。

小千谷市周辺の地域は古くから酒造りが盛んで、酒造家も慶応3年(1867年)には16軒を数え、越後の酒の一大産地を形成していました。その技術を継いだ「酒男」は全国各地に冬期間出稼ぎに出かけ生活を支えましました。

●未成年者の飲酒は法律で固く禁じられています。



これからも「フルーティー」で食前酒のようなどぶろくを目指すという佐藤さん

### どぶろく「とえん」 4合瓶 (720ml) 1500円

「おいしい料理を食べる前に飲む、食前酒のような味わいを楽しんでもらいたい」と佐藤さん。フルーティーな中にも芳醇な味わいも追求したという自慢のどぶろく。

■問い合わせ/  
農家民宿 峠の茶屋  
☎82-7009



杜氏組合に所属している杜氏は14人います。こうした現状からも、当市はどぶろくづくりの下地を兼ね備えた最適地と言えるのではないのでしょうか。

特区の取得は、こうした「どぶろくづくり」を通じて、地域の素材を生かし、地域活性化のため地域ビジネスに情熱を注ぐみなさんに、多くのメリットをもたらすものだと考えています。

今後も市はこうした地域づくりに関わるみなさんを応援していきます。それは地域の活性化が、市全体の活性化に結びつくものだとして信じてやまないからです。

■問い合わせ/  
農林課農村支援係 ☎83・3510

# 長岡市と定住自立圏形成協定を結びました

## ■定住自立圏形成とは

中心市と周辺市町村が連携することで、住民の生活に必要な機能を確保し、関係地域全体の魅力を高め、人々が暮らしやすい地域を広域的につくることを目的としています。そのために中心市と周辺市町村が自らの意思で1対1の協定を結び、形成される圏域です。

(少なくとも4万人を超えること)で、昼間人口が夜間人口を上回るなどがその要件です。

## ■中心市とは

生活に必要な都市機能がある程度集まっている都市をいいます。人口5万人程度以上

中心市は周辺市町村の意向に配慮しながら、地域全体の取りまとめなどにおいて、中心的な役割を担う意思を明らかにするため、中心市宣言を行うことになっていきます。長岡地域定住自立圏の中心市である長岡市は平成21年3月2日にこの宣言をしています。

## ■定住自立圏形成協定とは

暮らしやすい圏域のために必要な生活機能を確保するため、「生活機能の強化」「結びつきやネットワークの強化」「圏域マネジメント能力の強化」の観点から、中心市と周辺市町村が1対1で、連携する取り組みについて結ぶ協定です。協定を結ぶには、関係市町村の議会の議決が必要です。

当市では、12月に開催された市議会第4回定例会で、長岡市と結ぶ「定住自立圏形成に関する協定書」について議決しました。

これを受けて、当市は中心市宣言をした長岡市と12月21日に、定住自立圏形成協定を

結びました。

中心市である長岡市は、小千谷市、見附市、出雲崎町とそれぞれ形成協定を結び、これにより、3市1町による長岡地域定住自立圏が形成されました。

## ■定住自立圏共生ビジョンの策定

定住自立圏を形成した圏域

全体で、協定に基づき関係市町が連携して進めていく具体的な取り組みを示す「共生ビジョン」の素案を、中心市の長岡市が策定中です。

問い合わせ／企画財政課企画経営係 ☎83・3507

plan@city.ojyanigata.jp

## 定住自立圏の形成

### 定住自立圏共生ビジョン

- 中心市が策定
- 具体的な取組を記載



医療、教育、産業振興、環境、消防・防災、地域公共交通、ICTインフラストラクチャー(情報通信技術基盤)整備、人材育成などの分野で協力・連携します



定住自立圏形成協定を結び、関係市町の首長と握手を交わす谷井小千谷市長(12月21日長岡市役所にて)

## 「定住自立圏の形成に関する協定書」の内容

当市が長岡市と締結した内容は下表のとおりです。

連携の視点	政策分野	連携項目
生活機能の強化	医療	高度医療・救急医療体制の充実
	教育	図書館の相互利用
	産業振興	観光情報の発信・観光誘客の推進
	環境	廃棄物処理施設の連携・広域化 ごみの減量・資源の有効活用
	消防・防災	消防救急体制の強化 市民防災力の充実・強化
	その他	男女平等推進相談の充実・連携体制の強化 消費生活相談体制の強化 多文化共生社会の推進
結びつきやネットワークの強化	地域公共交通	地域公共交通ネットワークの維持
	ICTインフラストラクチャー(情報通信技術基盤)の整備	ケーブルテレビのサービスエリア拡大 コミュニティFMの受信環境の整備
	その他	公共施設の相互利用
圏域マネジメント能力の強化	人材の育成	職員の人材育成 スポーツ指導者養成



# 「小千谷市シルバーワークプラザ」完成

(社)小千谷市シルバー人材センターの新たな活動拠点として活用されます



12月28日(月)、「小千谷市シルバーワークプラザ」の竣工式が行われました

市が建設中の「小千谷市シルバーワークプラザ」が12月25日(金)に完成し、28日(月)、竣工式が行われました。

この施設は、高齢化が進み、定年後、まだまだ働きたいという健康で働く意欲のある高齢者が増えるなか、高齢者の就業機会を確保し、さまざまな社会参加を通じて、地域社会の福祉を向上させることを目的に建設されました。この「小千谷市シルバーワークプラザ」には作業室のほか技能訓練講習室を設け、新たな就業技術を習得するための講習などでもできるようにします。今後、この施設を活用し、高齢者の生きがいづくりや新たな雇用の確保などが期待されます。

## ●(社)小千谷市シルバー人材センターが指定管理者に

「小千谷市シルバーワーク

プラザ」は、(社)小千谷市シルバー人材センターが指定管理者として運用することになりました。

(社)小千谷市シルバー人材センターでは、この施設をシルバー人材センター会員の活動拠点として活用し、障子・襖張りなどの、今まで発注者宅で行っていた作業を行うスペースを確保します。この施設の活用は、独自事業・新規事業の検討と実践を進め、働く機会と収益の拡大が期待されます。さらに技能訓練講習室の活用により、作業研修などの実施による後継者の育成や技能向上も期待できます。また、シルバー人材センター会員が心のよりどころとして気軽に集まることができ、さまざまな活動を通して、高齢者が「自分でできる社会参加」を実現できるようにします。

## ●シルバー人材センターをご利用ください

(社)小千谷市シルバー人材センターでは、高齢者の経験や能力を活かして、高齢者にふさわしい仕事を民間企業や一般家庭などから受注し、高齢者が組織的に働くことを通じて、健康で生きがいのある生活の実現を進めています。また、「自主・自立、共働・共助」を理念にボランティア活動をはじめとするさまざまな社会参加を通じて、地域社会の福祉の向上に貢献しています。

シルバー人材センターで請負っている仕事は、襖・障子張り、毛筆筆耕、農作業や家事、育児、介護など技術・技能・事務・管理・サービスの分野で多岐にわたっています。どうぞご利用ください。また、入会説明会も毎月行い、随時新規会員を募集しています。

### ●施設概要

- 所在地／大字桜町2235番地1(わかば保育園向かい)
- 建物／軽量鉄骨造2階建
- 建物床面積／  
▽1階114.05㎡  
▽2階 75.83㎡
- 主な設備／作業室、軽作業室、技能訓練講習室、トイレ、駐車場
- 敷地面積／669.19㎡
- 建設費／2,490万円(見込)

### ●指定管理者

(社)小千谷市シルバー人材センター  
理事長 濁川正勝



■問い合わせ／(社)小千谷市シルバー人材センター ☎82・6550 FAX 82・6615  
URL <http://www.sjic.ne.jp/sc-ojiva/>

# 2010年世界農林業センサスにご協力を

農林水産省では、2月1日現在で「2010年世界農林業センサス」を行います。

この調査は、統計法に基づく基幹統計調査として行うもので、農林業を営むすべての世帯・法人を対象に、5年ごとに実施しています。

ご記入いただいた調査票は、統計上の目的のみ使用され、ほかの目的に使用されることは、決してありません。

1月下旬に調査員が調査対象世帯を訪問しますので、聞き取り調査、調査票の記入にご協力ください。

調査内容などは、農林水産省ホームページ <http://www.maff.go.jp/j/tokei/census/atc/index.html> をご覧ください。

お問い合わせ／総務課情報統計係 83・3506



## 数字で見る小千谷市の姿⑨ 2010年世界農林業センサスの実施に向けて

### ■農林業センサスの重要性

2月1日現在で実施される農林業センサスは、昭和25年から実施しているもので、今回で13回目となる歴史のある統計調査です。

わが国の農林業は、食料の安定した供給だけでなく、国土・自然環境の保全や良好な景観の形成、地域文化の継承など、国民生活において重要な役割を果たしてきています。しかし、近年の人口減少社会への変化に伴い、農家の減少や農業従事者の高齢化が進み、農山村活力の低下が心配されています。農林業センサスは、わが国の農林業の実態を把握するとともに、地域施策の企画・立案の基礎資料として、とても重要な役割を担っています。

### ■農業就業人口の推移

グラフ①は、農業就業人口の推移を年齢別に表したものです。就農人口は昭和60年から平成17年までの20年間で、4375人から2866人と、1509人(約34・5%)減少しました。中でも最も減少率が高いのは40代で、約85・4%(490人)も減少しました。

就農人口の減少と同様に問題視されているのが、農業従事者の高齢化です。60歳以上の就農人口は、昭和60年は51%と約半数であったのに対し、平成17年には75%と、4分の3を占めています。

ます。また、年齢別に見ても、20年間で最も就農人口の増加率が高いのが70歳以上で、54・7%(475人)の増となっています。

### ■経営耕地面積と耕作放棄地面積の推移

就農人口の減少と同様に、グラフ②の経営耕地面積も年々少なくなり、20年間で約599㍏(17・9%)も減少しました。同時に耕作放棄地(※)も増加を続け、平成17年には約238㍏が耕作放棄地として報告されています。これは、同年の経営耕地面積2737㍏に対して約8・7%という大きな割合を占め、20年前と比較すると109・6㍏(約1・9倍)も増加しています。

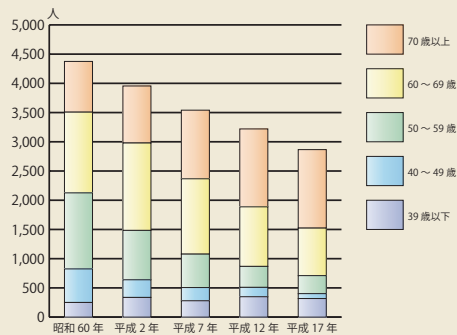
耕作放棄地はセンサスにおける重要な調査項目の一つです。農地の有効利用と食料供給力の確保のためにも、耕作放棄地の発生防止と解消が重要な課題となっています。

※耕作放棄地：以前耕作していた土地で過去1年以上作付けをせず、この数年間で再び作付けする考えがない土地(森林・原野を除く)

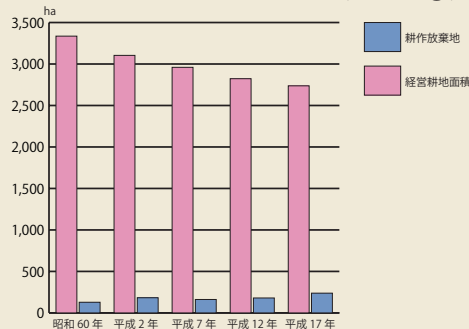
農林業センサスの結果から、以上のような問題・課題が見えてきます。農林業の実態の変化を的確に捉え、未来へつなげる大切な調査です。農林業センサスへのご協力をお願いします。

お問い合わせ／総務課情報統計係 83・3506

◆年齢別農業就業人口の推移 (グラフ①)



◆経営耕地面積と耕作放棄地面積の推移 (グラフ②)







先日、東京表参道にある新潟館ネスパスに行つて来ました。ここは新潟の新鮮情報を発信するアンテナショップですが、この中にある「にいがたUターン情報センター」の人材相談員の方とお話しているうちに、たいへん興味のあるお話を聞きました。新潟で暮らしたい人の相談などもしている中で、農業をしたいのだが、と言う若い女性の相談があるそうなのです。

この話を聞いて、小千谷には既に同じような経歴をお持ちの方がいらっしやることを思い出しました。たいへん多くの人が暮らしている首都圏ですから、同じような志を持った方はたくさんいることでしょう。ぜひ小千谷でその願いを実現していただけたらと思います。

わが市には、農業のほかにも独自の伝統や技術を持つたくさんの方の企業があります。センターの相談員の方に、当市の「ときめきめぐりあい推進事業」のことも説明させていただいたところ、たいへん興味を持ってくださいました。さっそく、「ときめきめぐりあい推進事業」の担当者が東京へ出かけてお願いをした結果、窓口としてご協力をいただけることになりました。

ときめきめぐりあい推進事業が、首都圏を対象に、めぐりあいの機会を見つける手がかりを得ました。これからの成果に大いに期待しています。こんなこともあって、今年、小千谷でめでたい話がたくさん生まれることを願っているとこです。

(谷井 靖夫)



●めぐりあいサポートセンター職員 渡辺淳子さんとみなさんの「めぐりあい」をサポートしています。センターには現在、44人の会員登録があります。

## 作ってみてね！この料理 豚肉と小松菜の塩昆布炒め

### <材料>4人分

豚肩肉薄切り …… 120g  
 小松菜 …… 300g  
 にんじん …… 60g  
 しいたけ …… 40g  
 塩昆布 …… 15g  
 酒 …… 大さじ1  
 ごま油 …… 小さじ1  
 こしょう …… 少々  
 炒りごま …… 大さじ1

### 📌今月のワンポイント

豚肉、野菜、きのこ、海藻を使ったバランスのとれた一品です。味付けは塩昆布だけなので減塩にもつながります。



■献立・調理 / 小千谷市食生活改善推進委員

### <作り方>

- ①豚肉は5mm幅の細切り、にんじんはせん切り、しいたけは5mm幅に切る。
- ②細切りにした豚肉に、1/3の量の塩昆布、酒をよくもみ込みしばらく置く。
- ③塩を加えた熱湯で小松菜を固めに茹で、水で冷やし、水気を切って2～3cm幅に切る。
- ④油は使わず、熱したフライパンに豚肉を入れて炒め、火が通ったら別の容器にとっておく。
- ⑤フライパンにごま油を熱し、にんじん、しいたけを炒め、しんなりしてきたら小松菜、残りの塩昆布、こしょうを入れ、さっと炒める。
- ⑥④の豚肉をあえるように合わせ、器に盛り、炒りごまをふりかける。

### ■栄養価

▷エネルギー 113kcal ▷たんぱく質8.2g▷脂質6.8g▷塩分0.7g

### どうして音が鳴るの？不思議だね

生活の中の不思議を、五感を使って遊びながら学べる移動科学館「チルドレンズ・ミュージアム in おぢや」が、12月13日(日)に総合体育館で開催されました。会場には科学・物理の原理をわかりやすく表現したさまざまな体験コーナーがあり、子どもたちは水を張ったグラスのふちをなでると出る音色を興味深そうに体験していました。この事業は自治宝くじの助成を受け実施されました。



**できあがりを楽しみます**  
 12月13日(日)、真人町の古民家「田舎っぺ」で、「手作りみそ体験」が行われました。今回は市内外から14人が参加し、こだわりの素材を使った味噌の仕込み作業を楽しそうに進めていました。

### 新しい工場ができました

一旦閉鎖した岩沢地域農業者等共同作業施設で、新たに事業を始めた中越住電装株式会社岩沢工場の開所式が12月11日(金)に行われました。景気が低迷する中、新規に小千谷で操業され、閉鎖した工場の従業員のみなさんも雇用いただきました。たいへんありがたいことです。



左から和田拓海さん(三  
 仏生・和泉小)、岸本飛  
 雅さん(高梨・和泉小)

ソフトテニス 4人が全国大会へ



左から吉田梨花さん(千  
 谷・千田小)、山崎優花  
 さん(千谷・千田小)

12月13日(日)に男子、23日(祝)に女子のソフトテニス県学年別大会が行われました。5年生男子では和田・岸本ペアが、4年生以下女子では吉田・山崎ペアがそれぞれ3位に入賞し、3月29日(月)から千葉県白子町で開催される全国大会へと勝ち進みました。



### 貴重なご意見をいただきました

「小千谷市の高齢者医療等について考える会」(代表:中村忠夫さん)から12月16日(水)に、「高齢者の介護等に関する提言」をいただきました。①介護制度、介護施設を広く市民に周知すること②介護予防体操を普及させること③医療、介護などのテーマに沿ったシンポジウムを引き続き開催すること、などの意見をいただきました。今後、医師会と市は提言に沿って高齢者の介護について検討していきます。



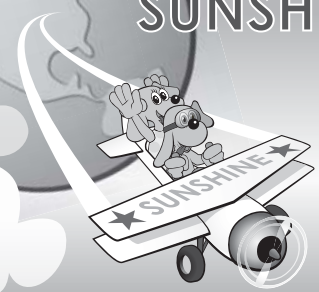
# STEP WORLD

小学生を募集

30年の実績 ▶ ステップワールド英語スクールに  
 一旺文社LL教室は、 [www.step-w.com](http://www.step-w.com)  
 小千谷市本町2-2-24 島屋書店・楽器店 TEL 83-3131

## SUNSHINE 英会話

☎ 83-1004



小千谷校

2-7-29 和光造園ビル2  
 TEL (0258) 83-1004

JUSCO ● ●ガスト  
 一 至小千谷インター 至長岡  
 島屋書店 ● ●  
 ハラシ ● ●  
 小千谷校 ● ●モスバーガー

有料広告掲載欄です





### 一定早く メリークリスマス

12月20日(日)、原信西小千谷店駐車場で「こぶし通りクリスマスフェスタ」が行われました。この催しは、城内、平沢、千谷川の町内が主催して行ったもので、たくさんの方が訪れました。昼過ぎまでの大雪もひと段落して、来場者はちょっと早いクリスマス気分を楽しみました。

会場では各町内の出店が並んだほか、ストラックアウトゲームや、ビンゴ大会、3人のサンタさんに質問をして本物を探す「サンタを探せ」ゲームなどさまざまな催しが行われました



### 園児にお芋をプレゼント

岩沢保育園真人分園に12月24日(木)、阿部正己さん(千三)が焼き芋を持ってきてくれました。今年で3回目になるこの焼き芋のプレゼント。園児たちは「ありがとうございます」と元気にお礼を言っていました。



話し合いやまち歩き、講演などさまざまな内容のセミナーを通じ、まちづくりを学びました

人づくりはまちづくり  
〜人材育成セミナー〜  
12月12日(土)、ふるさと納税による虹の架け橋基金を活用した連続講座「人材育成セミナー」が終了しました。このセミナーは、講師に地域の活性化やまちづくりの分野で活躍する方々を迎え9月30日から8回に渡り開催されました。16人の受講者は、お互いの交流や学習を通じて小千谷の魅力や身近な宝物を探り、これからのまちづくりを考えました。セミナーを終えたみなさんは、それぞれの分野で、今回学んだ成果を発揮し、明日のまちづくりに生かしていただけることでしょう。



年末年始にかけ、市内でもたくさんの雪が降りました(池ヶ原の雪景色)



年越しを彩る花火(浅原神社)



二年参りにたくさんの人が出かけた(二荒神社)

### 年末年始のまちの顔

## 経営者の退職金制度を知っていますか?

小規模企業共済制度とは、小規模企業の個人事業主または会社等の役員の方が事業をやめられたり退職された場合に、生活の安定や事業の再建を図るための資金をあらかじめ準備しておく共済制度です。

◆掛金は毎月1,000円～70,000円まで、全額所得税控除になります。

#### 加入できる方

● 常時使用する従業員が20人以下(商業・サービス業は5人以下)の個人事業主及び会社の役員・農業の経営を主として行っている農事組合法人の役員などです。

本制度の運営機関 独立行政法人 中小企業基盤整備機構

毎月3万円の掛金(年間36万円)で例えは課税対象所得400万円の方ならば**108,000円の節税!**にもなるのよ!



お問い合わせ・加入申込窓口

小千谷商工会議所  
TEL 81-1300

有料広告掲載欄です

乳幼児健診、予防接種の実施日には、先着順に番号札をお渡しします。

■番号札配布開始時間／午前中に開催の場合：午前8時30分～、午後で開催の場合：正午～

# 健康 の情報

## 2月の予定

### 子宮がん検診・乳がん検診日程表

(40歳以上同時実施・20～38歳子宮がん検診のみ)

月日	受付時間	会場
2.15(月)	13:00～13:10 14:00～14:10 ※子宮がん検診のみ受診する方は、 14:00～14:10受付	小千谷総合病院
2.19(金)	12:30～12:50 ※子宮がん検診のみ受診する方は、 14:15～14:30受付	魚沼病院
2. 5(金) 2.16(火)	9:00～12:30 15:00～17:30(金曜日は19: 00まで受付)※20～38歳の子宮が ん検診のみ実施	森平レディースク リニック

1年おきの検診です。対象年齢で申し込んだ方は、必ず個人通知が届いてから受診してください。

指定された日が都合の悪い場合は、申し込んだ医療機関の検診日の中で、受診日を変更してください。

#### 子宮がん検診

- 対象／20歳以上の女性で、平成22年4月1日までに偶数年齢になる方(隔年検診)
- 料金／1,000円、70歳以上無料

#### 乳がん検診

- 対象／40歳以上の女性で、平成22年4月1日までに偶数年齢になる方(隔年検診)
- 料金／▽40～48歳1,400円(X線写真を4枚撮影)▽50～68歳1,000円(X線写真を2枚撮影)▽70歳以上無料(X線写真を2枚撮影)

- 対象年齢で申し込みをしなかった方で、検診を希望する方は、健康センターへご連絡ください。
- 女性特有のがん検診推進事業対象で無料クーポン券が届いた方は、申込期限を延長しますので、所定の用紙で申し込みください。
- 次の方は集団検診が受けられません。引き続き病院で診療を受けてください。▽手術で子宮や乳房を摘出した方▽豊胸手術を受けた方▽子宮や乳房の病気で通院中の方▽妊娠中の方▽ペースメーカー装着中の方

#### 各種検診のご案内

通知された日時・会場で受診できない方は、都合のよい会場で受けることができますので健康センターへご連絡ください。

また、受診通知書が届いていない方で受診を希望する方や申し込みの取り消しをする方も健康センターまでご連絡ください。検診の対象年齢は平成22年4月1日現在の満年齢を基準としています。

問い合わせ・申し込みは  
健康センターへ☎83-3640

## 乳幼児の健康診査 会場は健康センターです

### 4か月児健康診査

- 日時／2月3日(水)午後1時～1時10分受付
- 対象／平成21年9月生まれ
- 持ち物／母子健康手帳、バスタオル、替え用のオムツ
- その他／離乳食講習会を同時実施

### 10か月児健康診査

- 日時／2月4日(木)午後1時～1時10分受付
- 対象／平成21年3月生まれ
- 持ち物／母子健康手帳、替え用のオムツ
- その他／離乳食後期の講習会を同時実施

### 1歳6か月児健康診査

- 日時／2月17日(水)午後1時～1時20分受付
- 対象／平成20年7月生まれ
- 持ち物／母子健康手帳
- その他／歯科検診を同時に行います。歯をみがいて来てください。

### 2歳児歯科検診

- 日時／2月19日(金)午前9時～9時10分受付
- 対象／平成20年1月生まれ
- 持ち物／母子健康手帳、お子さんの仕上げみがき用ハブラシ
- その他／幼児食講習会と歯科衛生士によるブラッシング指導があります。歯をみがいて来てください。

### 3歳児健康診査

- 日時／2月18日(木)午後1時～1時20分受付
- 対象／平成19年1月生まれ
- 持ち物／目と耳のアンケート、生活習慣アンケート、採尿した容器、母子健康手帳
- その他／歯科検診も同時に行います。歯をみがいて来てください。

\*発熱など、普段と違う症状のあるおひさまは、翌月の健診日においてください。



## 小千谷縮見本帳が新たに市指定文化財に追加

12月22日(火)、市所有の小千谷縮見本帳2冊が市の指定文化財に指定されました。小千谷縮見本帳は、江戸時代に小千谷の縮商人が江戸や京都に商いに行く際に持参し、注文を取った図柄の見本です。本のように綴じて一覧になっているため、携帯性に優れ、一度にたくさんの図柄が見ることが出来ます。現在では、当時の色やデザインを知る大切な資料となっています。

市内には以前から県指定文化財に指定されている見本帳が9冊ありますが、今回の見本帳は時代的にも内容的にもそれらに劣らない貴重なものです。

■問い合わせ／社会教育課社会教育係 ☎82-9111

■市文化財に指定された小千谷縮見本帳2冊



## 文化財防災訓練を行います

文化財防火デーの1月26日、文化財防災訓練を実施します。みなさんもぜひご見学ください。消防車のサイレンが鳴りますが、訓練です。ご承知おきください。

■期日／1月26日(火)午前10時30分～

■場所／魚沼神社境内(土川2)

■訓練内容／消防署・消防団・土川自主防災会などによる放水訓練・消火器訓練など

■問い合わせ／▽消防本部予防課 ☎83-0238 ▽市民会館 ☎82-9111

## 小千谷縮関連の道具を探しています

小千谷縮がユネスコの無形文化遺産に登録されたことで注目を集めています。市では小千谷縮に関連した道具や民具などを収集してきました。今後も小千谷縮の制作行程に使われていた道具などを散逸させないために、寄贈、寄託(預けること)していただける品物がありましたらお知らせください。また、ご家庭などで使われていた小千谷縮関連の道具の情報をお持ちの方も、ぜひご連絡ください。

■収集したいものの一例／下記のような小千谷縮関連の道具など



苧績み桶



木羽定規



グルとオッタテ

■問い合わせ／社会教育課社会教育係 ☎82-9111

## 「親子で豆まき」

♪おにはそと ふくはうち♪ 節分の行事を親子で楽しみましょう。おはなしやゲームもあります。なお、駐車場は総合体育館駐車場をご利用ください。

■日時／2月3日(火)午前10時30分～11時15分(受付は10時から)

■会場／サンラックおぢや

■対象／入園前の幼児と保護者

■定員／80組(無料、定員になり次第締切)

■申込締切／2月1日(月)

■申込・問い合わせ／わんパーク

☎81-7564

## AAグループミーティング

アルコール依存を正しく理解し、互いに話し合うことで断酒継続をしています。

■日時／毎週水・金曜日午後7時30分～9時

■会場／健康センター

■対象者／アルコール依存やお酒で体調をこわしている方、家族、友人

■問い合わせ／健康センター保健係

☎83-3640

## うぶごえ教室

出産や育児のための教室です。お子さん、ご夫婦一緒でも参加できます。

■日時／2月17日(水)午前9時～9時10分受付

■対象／妊婦、1歳未満の子どものお母さんなど

■会場／健康センター

■内容／母乳育児と妊娠中・産後の過ごし方などの講話、料理実習、会食交流会

■持ち物／母子健康手帳、エプロン、三角布、お子さんの離乳食

■無料

■申込締切／2月12日(金)

■申込・問い合わせ／健康センター保健係 ☎83-3640

## 消費者ホットライン

市民生活課 ☎ 83-3509

「消費者ホットライン」が1月12日(火)から始まります。

——ホットライン電話番号——

守ろうよ みんなを!  
☎ 0570-064-370

消費生活における各種トラブルに直面したときに、全国共通の上記番号に電話をかけるとお近くの相談窓口につながり、相談に応じて問題解決のための助言などを行っています。

## ■接続先／

▽月～土曜日：午前9時～午後4時

30分まで：県消費生活センター

▽日曜日・祝日：午前10時～午後4時

時まで：国民生活センター

▽上記の時間以外は、音声ガイダンスで受付時間の案内をします。

■接続方法／固定電話・携帯電話どちらからもつながります。音声ガイダンスに従って進んでください。

## 市でも消費生活相談窓口を開設しています

## ●相談日・内容／火・木曜日

▽来所相談▽電話相談

※来所相談の場合はできる限り予約をお願いします。

## ●受付時間／午前9時～正午

※特別に正午～午後1時の昼休み時間に相談を希望する方は問い合わせください。

## ●相談場所／市役所2階市民ホール第1相談室

■予約・問い合わせ／市民生活課生活安全係☎83-3509

## 国税電子申告・納税システム(e-TAX)をご利用ください

国税電子申告・納税システム(e-TAX)とは、インターネットを通じて自宅などから、所得税や法人税などの国税の申告や納税を行うシステムです。

国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」を利用して直接電子申告が利用できるほか、e-TAXにより所得税の確定申告書を提出する際に、本人の電子証明書を併せて送信すると、所得税額から5,000円(その年分の所得税額を限度)が控除になり(平成19年分または20年分の確定申告でこの控除を受けた方は受けられません)、一定の第三者作成書類の添付が省略できます。

ご利用していただくためには、事前に開始届出書を税務署に提出するほか、電子証明書の取得やICカードリーダーが必要となります。

詳しくはe-TAXホームページ☎<http://www.e-tax.nta.go.jp>をご覧ください。か、税務署へ問い合わせください。

■問い合わせ／小千谷税務署個人課税部門☎83-2090



## 保険税・保険料の納付額をお知らせします

平成21年中に納付した国民健康保険税・介護保険料・後期高齢者医療保険料の納付額を1月下旬にはがきでお知らせします。確定申告などの社会保険料控除の申告にご利用ください。

なお、特別徴収(年金から天引き)による納付額は、公的年金などの源泉徴収票でお確かめください。

■問い合わせ／税務課市民税係☎83-3508

## 「農業所得収支内訳書作成個別相談会」を開催します

農業所得のある方を対象に、確定申告用「収支内訳書」の作成のための個別相談会を開催します。

■期日／1月25日(月)～28日(木)

■時間／午前9時～正午、午後1時～4時(1人当たり50分程度)

■会場／市役所税務課

■申込／電話での事前予約が必要です。

1月22日(金)までに税務課へ申し込みください。※人数の関係で、ご希望の日時で受付できない場合もありますのでご了承ください。

■申込・問い合わせ／税務課市民税係☎83-3508

## 市税等の納期限

■2月1日(月)

■市・県民税(4期)、国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料(1月分)

■問い合わせ／税務課管理収納係☎83-3508

(ファックス兼用)

■申込・問い合わせ／東山住民センター1 ☎59・2003

※事前申込が必要です。ご希望の方はご連絡ください。

■主催／東山五人杵搗き餅保存会

■代込み、お土産餅付き

■参加費／1500円※昼食つき見学・昼食

■内容／五人杵搗き餅の餅つき見学・昼食

■会場／東山住民センター(南荷頃266番地1)

■日時／1月24日(日)午前10時～11時30分

餅見学ツアーを開催します。

地域復興の取り組みとして活動している「東山五人杵搗き餅保存会」では、昼食・お土産付きの『東山五人杵搗き餅見学ツアー』を開催します。

東山五人杵搗き餅  
見学ツアー



# お知らせ

## Information

小千谷市役所 ☎ 83-3511 (代)  
<http://www.city.ojiya.niigata.jp/>

ちちみの里の利用券が当たる  
**広報クイズ** 解答をはがきでお送りください。  
 正解者の中から、抽選で3人にちちみの里の利用券を贈呈します。市報おぢやの感想もあると担当はうれしいのですが…

**問題** 小千谷市は12月21日、『定住自立圏形成協定』を結び、周辺の市町と協力して、みなさんが暮らしやすい地域を広域的につくっていくことを決めました。さて、この協定を結んだ市町の数はいくつですか。

①4市1町 ②2市2町 ③3市1町  
 (ヒントは8ページ)

**応募先** 〒947-8501 小千谷市役所 企画財政課広報広聴係あて(住所不要)

**締切** 1月25日(月) (当日消印有効)  
 12月号の答えは、②午前4時でした。

抽選の結果次の方が当選しました。  
 金子あさ子さん 村山葉子さん  
 吉澤清さん

人口と世帯数 (12月31日現在)				
男	19,508人	前月比	- 3	出生 28人
女	20,022人	前月比	- 10	死亡 35人
合計	39,530人	前月比	- 13	転入 46人
世帯数	12,573世帯	前月比	+ 3	転出 52人

交通事故発生状況 (12月31日現在)		
	21年12月まで	20年12月まで
件数	137件	144件
死者	3人	2人
傷者	169人	184人

消防本部出動状況 (12月31日現在)		
	21年12月まで	20年12月まで
火災	25件	21件
救急	1,372件	1,330件

気象データ12月		
	21年12月	過去10年の平均
平均気温	4.0℃	3.4℃
最高気温	16.0℃	14.4℃
最低気温	-2.4℃	-2.7℃
降水量月計	362.5mm	396.1mm

小千谷地域消防本部速報値 (観測地: 元中子)

### 戸籍電算化に伴う文字の変更通知

市では戸籍の電算化(コンピュータ化)作業を進めています。2月20日(土)からコンピュータを用いた事務処理に切り替えます。

これに伴い、現在の紙の戸籍の内容がコンピュータによる記録に変わりますが、電算化後の戸籍では、氏名の文字は常用漢字や人名用漢字など戸籍法で認められた字体になります。このため、従来、氏名の文字に俗字や誤字が使われていた方については、字体の変更について事前に確認をいただくため個別に通知します。通知は1月下旬に発送します。

■よく使われている俗字・誤字と電算化後の字体(例)

邊 → 邊      藤 → 藤

■問い合わせ/市民生活課市民係 ☎ 83-3509

### 都市計画変更に伴う住民説明会・公聴会を開催

市では都市計画道路の起点変更を計画しています。下記のとおり説明会と公聴会を開催します。

■説明会日時/1月19日(火)午後7時30分～

■公聴会日時/2月17日(水)午後1時30分～

■会場/市役所4階大会議室

■内容/都市計画道路船岡町小栗田線を約350m廃止

■素案の縦覧期間/1月15日(金)～28日(木)・日曜日を除く午前8時30分～午後5時15分

■公述申出期間/1月15日(金)～28日(木)

■公述申出方法/申出先窓口にて専用の用紙がありますので、その用紙を使用してください。

■縦覧の場所・公述申出先/

▽長岡地域振興局地域整備部計画調整課 ☎ 38-2614

▽建設課都市計画係 ☎ 83-3514

■その他/公述の申し出がない場合、公聴会は開催しません。開催の有無をあらかじめ確認ください。

■問い合わせ/建設課都市計画係 ☎ 83-3514

「公述」とは計画などに対するご意見やご質問のことです。

### 緊急人材育成事業のご案内

厚生労働省では、雇用保険を受給できない方(受給を終了した方を含む)への就労支援として、受講料が無料の職業訓練(基金訓練)と訓練期間中の生活費の給付・貸付制度を行っています。給付・貸付制度のご利用には一定の要件があります。

■給付金額/月10万円または12万円

■貸付金額/月5万円または8万円

■問い合わせ/ハローワークおぢや ☎ 82-2441

### サンラックおぢや「高齢者職業相談室」を終了

サンラックおぢや内の「小千谷市高齢者職業相談室」は、都合により2月26日(金)で業務を終了します。

なお、3月以降の相談業務は、「ハローワークおぢや」で引き続き行いますのでご利用ください。

■問い合わせ/ハローワークおぢや ☎ 82-2441

# 祝

## バンクーバー冬季五輪大会出場決定

# 井佐英徳選手

### (バイアスロン競技)



井佐英徳選手(自衛隊・桜町出身)が県勢第1号となるバンクーバー冬季五輪代表に選ばれました。井佐選手は2002年のソルトレイクシティ、2006年トリノに続き、3大会連続の五輪出場となります。がんばれー井佐選手！

## 編集後記

●新しい年を迎えました。本年がみなさんにとって幸多き年でありますようお願い申し上げます。

毎年、年の初めには、今年こそあれをやる、これもこうしようと考えます。でも、なかなか思いどおりにできないことが多いものです。結局、いろいろ考えるより、一年を通して健康で元気に働くことができ、毎日過ごすことができればよいのかなと思う年の初めでした。

編集室一同、今年も読みやすく、分かりやすい「市報おちや」を第一に考えて編集に努めます。ご声援とご愛読をお願いします。

●新年となり間もなく冬季オリンピックが開催される。注目は当市出身、ご存知バイアスロンの井佐英徳選手。昨年の喜れ、県勢代表第1号で出場が決まり、今回の出場で3回連続五輪出場となる。一口に3回と言っても12年、この間その他様々な世界大会出場等々、その第一線で活躍することは並大抵のことではない。井佐選手帰省報告会後の懇親会、毎回痛飲させてもらいますがとにかく彼は強い。もともと強いのか？強くなったのか？いや、もともと強いのにさらに強くなったのだ！年の初めからそんなことでもいいではないか！なぜか頭に浮かぶ「日々鍛錬」、とにかく頑張れ井佐選手！

●この編集室に来て4回目の年越しを迎えました。例年、大晦日はカメラと三脚を抱え、年越しの風景を収めながら迎えます。今年も例に漏れず、片貝の浅原神社境内で、打ちあがる花火と共に新年を迎えました。さて、新しい年を迎えましたので、この「市報おちや」の紙面もマイナーチェンジしました。新鮮な気持ちで今年も編集を始めます。

## ●お詫ごと訂正

市報おちやお知らせ版12月25日発行号裏表紙のカレンダー中、1月20日(水)の欄に「クリスマスフェスティバル」とあるのは誤りでした。お詫びして訂正いたします。